

抗 DNA ポリメラーゼ β 抗体、ウサギ抗血清

70-041 50 ul, 70-042 250 ul

DNA ポリメラーゼ β は塩基に種々の損傷や修飾（酸化、メチル化、脱アミノ基等）を受けた時の塩基除去修復による DNA の修復に関与する酵素である。N-末端側に単鎖 DNA 結合と deoxyribose phosphodiesterase 活性を、C-末側に nucleotidyltransferase 活性をもつ。この酵素は通常の培養細胞で発現しているが、MNNG や MMS などのアルキル化剤で処理すると発現が増化する（文献 1）。

用途

- 1) ウェスタンブロッティング (0.2~1 ug/ml)
- 2) 免疫沈降
- 3) 他の用途（免疫染色、組織染色）についてはテストしていないが、使用できる可能性がある。

製品の性質

抗原：大腸菌で発現して高度に精製した活性型の全長組換え体ラット DNA ポリメラーゼ β (文献 2)

反応性：ラット、ヒト、マウス

性状：ウサギポリクローン抗血清、0.05% アジ化ナトリウム添加

保存：-20℃（長期保存；-70℃）

データリンク

UniProtKB/Swiss-Prot [P06766](#)(DPOLB_RAT), [P06746](#) (DPOLB_HUMAN), [Q8K409](#) (DPOLB_MOUSE)

文献

1. Friedberg EC *et al* *DNA Repair and Mutagenesis* 2nd ed., ASM Press (2006)
2. Date T *et al* “Expression of active rat DNA polymerase beta in Escherichia coli.” *Biochemistry* **27**: 2983-2990 (1988) PMID: [3042024](#)

図 1 組換え体 DNA ポリメラーゼ β (ラット) と本抗体のウェスタンブロットでの反応性

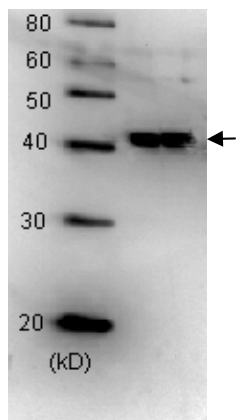
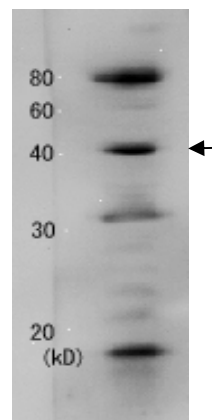


図 2 ヒト MCF7 細胞粗抽出液中の DNA ポリメラーゼ β を本抗体を用いたウェスタンブロット法で同定



関連製品: [#10-101](#) DNA ポリメラーゼ β (ラット)